

堀場賞に阪本氏ら3人

堀場製作所は26日、雅夫賞の本年度受賞者、超広帯域レーダメイキング技術を開発した兵庫県立大の阪

本卓也准教授(38)ら3人を選んだと発表した。阪本准教授以外の受賞者は、高精度な位置推定手法を開発した金沢大の菅沼直樹准教授(40)、熟練ドラ

イバーの運転技能を基に安全な運転支援システムを提案した東京農工大のボンサトーン・ラクシンチャーンサク准教授(37)。
特別賞には、東京大の伊藤太久磨特任研究員(31)と米オハイオ州立大アルバー・イルマス准教授(42)の2人を選んだ。
10月17日に京都市左京区の京都大芝園会館で授賞式を開き、堀場雅夫賞の受賞者には研究助成金として3年間で計150万円を贈る。(堀内陽平)